

## コミュニティバス実証運行の評価結果について（案）

## 1. 岬町が目指すべき地域公共交通について

- 本町の地域ごとの課題や特性、並びに住民ニーズを踏まえ、身近なバス交通を重視し、バス路線によって地域間を結ぶことで、地域の交流や活気あふれたまちづくり、地域づくりを支える交通体系を目指すこととする。
- 地域住民、事業者及び行政が創意工夫を活かした運営により、また、協働によって「創ろう 守ろう みんなの公共交通」を目指すこととする。

## 2. 評価の基本的な考え方について

- 新たな地域公共交通計画の将来目標である「創ろう 守ろう みんなの公共交通」を実現するため、運行関係者が実証運行期間中にどのような行動・取組を実施してきたのかを多角的な視点で検証を行う必要があり、この検証を行うために「量の評価・質の評価」などの視点から必要な評価指標及び目標値を設定する。
- この評価基準は、こうした目標の達成状況に応じて、どのような見直しが必要なのかを判断するための基準となり、今後の改善計画を検討する方向性を定めるものとする。  
なお、評価制度の概要は、平成28年度第1回地域公共交通会議における「資料6」を参照願います。

### 3. 実証期間中における評価結果について

評価指標及び目標値	平成28年度実績 (調査結果)	評価結果・評価基準 からの方向性	備考(見直し策の 具体例)
1便あたりの 平均利用者数 (基本路線9 人以上、乗継支 線2人以上)	1便あたり平均利用 者数 基本路線8.4人 乗継支線0.8人	○未達成 利用者増加策の 検討及び実施	地域住民の利用 拡大に向けた協 力組織の立上げ を検討する。
収支率 (基本路線 30%以上)	基本路線収支率 17.1% 但し、無料措置が 無ければ20.0%	○未達成 改善策の検討	持続的なバス運 行を目指し、地域 住民及び事業者 による支援策を 検討する。
満足度 (1年目50% 以上、2年目以 降60%以上) 「満足」及び 「やや満足」の 合計値の割合 をいう。	バス利用者意識調査 結果(平成28年7 月実施)による。 ○運行ダイヤ 24.5% ○バスルート 54.4% ○バス運賃 83.9% ○運転士マナー 75.7%	○一部未達成 主に運行ダイヤ に係るニーズの 把握、改善策の検 討及び実施 なお、達成項目 については、更な る満足度向上策 の検討及び実施	最終便の時間延 長及び休日ダイ ヤの運行時間の 拡大等のニーズ を把握する試行 運行を実施する。
利便性 (1年目50% 以上、2年目以 降60%以上) 外出機会が「増 加」及び「やや 増加」した住民 の割合をいう。	公共交通に関する住 民アンケート調査結 果(平成28年8月 実施)による。 26.8%	○未達成 運行ダイヤの見 直し等に基づく満 足度向上策の検討 及び実施	住民満足度向上 策を持続的に実 施する。